

【出題意図】

AIが将来の雇用に与える影響について述べた温度差のある（完全に正反対とは言えないという意味で）複数の課題文を用いて、学部が求める学生像の能力をみた。

設問1～4は、基礎的な「読解力」・「文章作成能力」・「数学的思考力」を確認するものである。文中から適切な部分を抜き出させたり、内容を要約・説明させることで「読解力」と「文章作成能力」をみた。また「読解力」と「数学的思考力」の基礎となる知識を確認するために漢字の読みと簡単な計算問題を出題した。

設問5は、複数の課題文から情報を適切に抜き出して論理的に文章を組み立てる能力と、それと関連付けながら自分の考えを適切に表現する能力をみた。

【解答例】（※字数は、通常半角で表記されるものも全角1字として計算した場合。）

1

(1) しょぎょうむじょう

じょうしゃひっすい（しょうじゃひっすい、しょうしゃひっすい）

(2) 工場で約100年かけて変化してきたことが、20年くらいに圧縮されてホワイトカラーに対して起こること。その変化とは働く人々の半数が職を奪われるかもしれないこと。(79字)

2

16,000万人（1億6000万人）

3

(1) 「ルールと変数が完全に限定されている枠の中」での勝負（26字）

(2) 変数の組み合わせが莫大な量となる場合（17字）

(3) しんらばんしょう

4

人間の能力に置き換えるように用いるのではなく、人間の能力を補完し、強化するように用いる場合。(46字)

5

AIも技術である以上はこれまでの技術と同様にある程度の職業は奪うであろうが、資料(A)(B)が主張するほどではない。第一に、AIは変数の組み合わせが莫大となる状況では能力を発揮できないため、例えば証券アナリストやファンドマネージャーがAIにまるごと代替されて失業するようなことはない。第二に、ルールと変数が完全に限定されている囲碁・将棋の場合であっても、そこでは単なる勝ち負けだけではなく、勝負のプロセスが大きな魅力となっているため、棋士という職業が奪われることはないだろう。第三に、AIは前後の文脈や「人間界の常識」をもとに「理解する」能力をもたず、冗談も言えないので、接客などの人間への対応を完全にAI任せにはできない。第四に、AIを業務に用いる際に業務の執行段階では物理的な身体性が必要になるため、AIによる代替が難しい場合がある。資料(C)にあった警察業務の他にも、コロナ禍において話題となったエッセンシャルワーカーの存在が挙げられる。第五に、ビジネスではAIと人間の相互の補完的強みが必要となる。以上のことから、それほど多くの職業が奪われることはない。(480字)